

リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用

【実施内容の具体】

- 1 学習課題を把握する。
- 2 個の考えをジャムボードに出し合う。
- 3 班内で個の考えを交流して、それをグループ分けして班の考えをまとめる。
※それぞれの考えの違いを、色分けして示すことで分類しやすくする。
- 4 全体交流して学習課題の解決を図る。
※電子黒板に各班のジャムボードのまとめを出して全体共有を図る。

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 ジャムボード等のアプリの使用について、生徒たちは、すぐに慣れて活用できる力をもっていることが分かった。
教師にとっては、生徒よりも慣れるのに時間がかかるが、以前は付箋を使って行っていた取組をクロームブック上に置き換えて行えばよいので、比較的スムーズに活用できるようになっている。
- 2 教科学習だけでなく、総合的な学習などでもジャムボードを使うことで、個の考えや集団の考えを共有して深めることが容易にできるようになった。

